



鹿島小だより

令和2年度 重点目標「よくきき よく考え 最後までやってみよう」

第11号 令和2年8月7日(金) 発行

〈文責：校長 草野 収〉

【電話】0244-46-2240 【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

第1学期終業式 ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症のため、臨時休校や分散登校で始まった第1学期。外部講師を招いての活動や全校生が集まったの行事や集会は、中止をしたり実施方法を変更したりと、例年通りの活動ができず我慢することも多かった第1学期ですが、本日放送での終業式を実施することができました。保護者の皆様には、毎朝の検温や健康観察、メールでの急な変更等への対応など、学校の取り組みにご理解・ご協力いただきありがとうございました。

終業式では、この1学期に「あいさつができる人が多くなったこと」、「廊下の荷物が落ちていることが少なくなったこと」を例に、生活や学習において、「できるようになったこと」が増えたことをほめ、さらに、みんなが気持ちよく楽しい学校生活を送るためには、“気づくこと”が大切であることを話しました。「放送がながれている」、「〇〇さんが発表している」、「〇〇さんが困っている」など、周りの様子や友達の様子に“気づくこと”が大切です。そして、気づいたら考えて行動する。このことは、「よく聞き よく考え 最後までやってみよう」という今年度の重点目標にも繋がっています。第2学期には、“気づける人”がもっともっと増えてほしいと思います。

続いて児童の発表、2年1組、3年1組、4年2組、6年2組の児童から、「第1学期を振り返って」の発表がありました。発表は代表でしたが、各学級で今学期を振り返り、学期の目標の反省を行いました。反省をぜひ2学期に生かしてほしいと思います。

明日からいよいよ夏休みです。今年度は16日間と短い夏休みですが、家庭での役割を自覚し、学校では学べないことに取り組んでほしいと思います。まだまだ新型コロナウイルス感染の状況は安心できるものではありません。鹿島区4校合同で出した「楽しい夏休みのために」を参考に、感染防止に努め、2学期にまた全員が元気に登校してほしいと思います。ご家庭でも生活についてお話くださいますようお願いいたします。



夏季休業中の連絡先



鹿島小学校 46-2240

※ 学校空直日(8/12(水)~14(金))

土・日曜、祝日は→(携帯)080-8601-6329 まで

第1学期の通知票について

学校が再開されてもしばらくの間は、新型コロナウイルス感染防止のため様々な制限があり、「児童が『接触する活動』『密集する活動』『近距離での活動』『向かい合っでの発声』などは避ける」という指針が示されました。そこで学校では、「児童の間隔をあける」「同じ方向を向く」など、可能な範囲で工夫しながら学習を進めてきました。

そのため、児童同士が活発に意見を述べ合ったり、グループで話し合ったりするような活動は可能な限り避け、教師から一方的に説明する授業を行わざるを得なかったこともありました。また、音楽科の歌唱や楽器演奏、図画工作科の友達と協力しての造形遊びや造形活動、家庭科の調理、体育科の道具を使う運動や児童が組み合うような運動、さらに、生活科や学校行事などの校外で行う学習は、6月下旬に「感染防止に努めながら実施可能」の通知が出るまで行いませんでした。

そこで、今学期の学習は、国語・社会・算数・理科・外国語を中心とした学習になってしまいました。

このようなことから、第1学期の「学習の記録」は、以下の教科についてのみ評定いたします。保護者の皆様には、ご理解いただきますようお願いいたします。

2年生……国語、算数

3・4年生…国語、社会、算数、理科

5・6年生…国語、社会、算数、理科、外国語

※ 1年生は、例年第1学期は評定を行わず、「生活と学習の様子」を別にお知らせしています。



夏休み 防災無線が流れます

鹿島区小・中学校の4校では、「鹿島区生徒指導協議会」を組織し、児童生徒の健全育成を図っています。

夏休みにあたり、「楽しい夏休みのために」のパンフレットを合同で発行しました。また、休み中には「防災行政用無線」により帰宅の呼びかけをしております。今年度の担当は本校で、代表委員会委員長が、下記の内容を録音いたしました。夏休み中に帰宅の放送が流れますので、時間を守って帰宅するよう、ご家庭でもお話しください。

(放送内容)

こちらは、防災南相馬広報です。

鹿島区生徒指導協議会からお知らせをします。

小中学校、児童生徒の皆さん、今日はどんな一日を過ごしましたか？

交通事故や不審な人に気をつけて、午後5時までには家に帰るようにしましょう。



以上でお知らせを終わります。こちらは、防災南相馬広報でした。